

廃棄米

諫早市立小野中学校

三年

藤山

駿太

僕に住んでいる地域は干拓地で、米作りが盛んです。僕の家も米農家で、毎年たくさんのお米を育てています。

僕は小さい頃からお米が大好きで、特に白米が大好きです。

いつものようにテレビを見ながらご飯を食べていると、食品ロスを減らすための糧となる取組みについてテレビが放送されていて、

お米の廃棄が少なくなるには、どんな取組みがあるのかな？と調べてみました。

世界では年間約十三億トンの食料が廃棄されています。そのうち日本の廃棄量は約六十二トンとなっています。これを国民一人あたり換算すると毎日お茶碗一杯分の食料を一人一人が捨てていることになります。

次に日本で大量の廃棄米が出た原因についてです。まず、大量の米が廃棄される背景には、二二穀十年間における日本人の食離れが

ありませう。その理由に、食の多様化と、
時短プログラムにありませう。もし米を1から炊
こうとするところ、最低でも二時間程度かかり、
無洗米や早炊き機能を使つたとしても三十分
から一時間はかかりませう。多忙な人が増えた
昨今では、お米よりもパンや、うどん、パス
タを好んで食べる人が増えていきます。特に車
身世帯の場合、炊飯器自体家に置かない人も
増えてきているようです。

次の理由はここ数年でライエット方法の定
番になつた糖質制限ダイエットです。糖
質は炭水化物や、果物などの食べ物に含
まれていますが、糖質制限によりライエットする多く
の人は、まず糖質を多く含む炭水化物
から控えるようになります。中でも米はライ
エット中の人には避けられがちです。

最後の理由は、ライス残しです。近年
では、レストランでライスが残り、
回転寿司屋でネタを付け食べてシヤリが残り、
コンビニでライス残しをする人が増えて

います。一時はメディアにも度々取り上げられるほどの社会問題となりました。ここにまで紹介した以外にも、さまざまな理由で廃棄米が出ています。

次に廃棄米を減らす取組についてです。まず最初にフードバンクに寄付することです。フードバンクとは、市場に流通できないもの、品質的には全く問題ない食品を、生活困難者などに配給する活動およびその活動を行う団体のことです。米に關しては、スーパーへの輸送途中でロスが少し増えたり、古いものなどが寄付されます。

次の取組は、プラスチックに再生するです。新潟県南魚沼市に拠点を置く、株式会社バイオマスレシンは、食用に適さないお米や米菓、カービで発生する破砕米などの廃棄米を「資源」として使い、バイオプラスチックの「ライシリン」を作り出す事業を行っています。

他にもお米を、紙に再生するなどのさまざまな

な取リ組が行われていきます。

僕は廃棄米が出た理由や、廃棄米を減らす取リ組みについて調べて、特に「ライス残し」や「米をプラスチックに再生する」取リ組みに驚きました。そして廃棄米についてもっとたくさんの人に知ってもらって、食品ロスについて深く考えてほしいと思いました。